

アフリカ 順調な発展

2014 年もアフリカはオイコクレジットにとって、政治的にも経済的にも概ね活動しやすい環境にありました。ポートフォリオは堅調な拡大をつづけ、社会投資は変わらず好調な見込みを示しています。ただし、引き続き取り組むべき課題は多くの国で残っています。

アフリカでの活動は、オイコクレジットの3つの部署が担当しています。ケニアのナイロビにある東アフリカ地域事務所、コートジボワールのアビジャンにある西アフリカ地域事務所、そしてオランダ・アメルスフォールトの国際事務所内で、非重点国のパートナーとの業務を主に担当する市場開発チーム（前 MicAf）です。2014 年は、業務の多様化を優先事項としました。現地スタッフを新たに雇い、特に、農業、株式投資、プロジェクトファイナンスの業務に配属しました。また、農業分野への融資やモニタリングに必要な人材の育成にも注力しました。さらに、4 年ぶりにマラウィでの融資を再開し、モロッコではいくつかのパートナーの協力を得て、オイコクレジットの存在感が高まりました。

ケニアやルワンダ、タンザニア、ウガンダのパートナーへの支援を含め東アフリカにおけるポートフォリオは、2014 年、5.7%拡大しましたが、そのうちマイクロファイナンスは、9.3%と大きく増加しました。農業分野のポートフォリオも、東アフリカでは 4%増加しました。現地通貨がユーロに対して値上がりし、ケニアの中央銀行は、これまで個々の銀行が独自に設定していた為替レートに代わりレファレンスレートを導入しました。私たちは、日常業務や長期的な社会的目標の達成に向けた指導・助言や人材育成等を通じて、東アフリカのパートナーがより大きな社会的業績を得られるよう支援を続けました。

西アフリカでは、マイクロファイナンス・パートナーとの提携業務を更に拡張し、より安定した業務を行っているマイクロファイナンス機関への支援強化や、Advans Group, VisionFund, Microcred などの国際的なネットワークとの関係構築を行いました。また、農業分野において総額 150 万ユーロの新規投資を承認しました。投資先の事業には、パームの生産（コートジボワール）、カシューナッツ加工（ベナン）、ごま加工（マリ）などがあります。コートジボワールではゴムの加工やマンゴ栽培などへの投資も実現できました。

西アフリカでの能力開発や社会的業績管理に関する活動では、ガーナの地方銀行と共にリスク管理プログラムを行いました。将来はこれをベナンにも広げる予定です。また、ベナン、ガーナ、マリでは、ポートフォリオ監査と顧客満足度調査を実施しました。さらに、マリでは MF 支援機関の ICCO や Terrafina と共に、ごまのバリューチェーンに関する研究を実施し、この研究結果を踏まえて、私たちはごま加工企業への融資を決めました。2014 年、オイコクレジットは西アフリカでの活動開始から 20 周年を迎えることができました。

Yalelo

Yalelo Ltd.は、自然環境に配慮した水産養殖会社で、ザンビアにあるカリバ湖でテラピアを養殖しています。会社のミッションは、地域住民の栄養不足に対する長期的な解決策として水産養殖を持続的に実施し、その規模を拡大していくことです。

Yalelo は、テラピアを養殖し地元の市場に卸していますが、その販売業者のネットワークの大多数は女性が占めています。同社は、ザンビアだけでなく、周辺国を含めた地域全体での地元産の魚介類への大きな需要に応じていきたいと考えています。また、Yalelo の水産養殖は、国内市場へ新鮮な魚を提供し続けるだけでなく、テラピア用の高蛋白の餌を生産している地元の大豆産業の発展にも貢献するでしょう。



Yalelo の現代的な養殖手法により、何十年にもわたる魚介類の乱獲に歯止めがかけられることになるでしょう。Yalelo は、広い湖の表面に張ったネットの中で穀物ベースの餌を与えながら自然漁法でテラピアを養殖しています。最先端の養殖技術の活用により、魚介類は最適な状態で成長していきます。魚介類の乱獲はザンビアにおいて問題となっていますが、Yalelo はこの乱獲の流れを自らの手で変えています。

Yalelo は地域と相互に便益を得てまた尊重し合うことで、地域との関係を深めています。現在、Yalelo には地元地域から採用された正規職員が 175 人いますが、Yalelo はこのような価値ある雇用創出に加えて、地域活性化プロジェクトにも数多く関わっています。

Yalelo は、2014 年よりオイコクレジットのパートナーです。このパートナーシップは、オイコクレジットに、財政的な見返りだけでなく社会的そして環境的にも利益をもたらしています。ザンビアでは、食の向上や雇用の増加も見られるようになりました。

アジア 前向きな成果

インドでは新政府により政情が安定し、積極的な政策が進められたので、オイコクレジットの事業にとって好ましい環境が作り出されました。東南アジアでは、経済が低迷している国や政情不安があるにもかかわらず、ポートフォリオは力強い拡大を遂げています。

オイコクレジットのインドの子会社 **Maanaveeya** は業績を伸ばし、2014 年のポートフォリオは主に金融サービスで 15% 伸び、7570 万ユーロとなりました。農業ビジネスと再生可能エネルギー分野では強いルートが作られたので、2015 年にはその分野の飛躍が期待されます。また、以前からのパートナーとの関係を深めると同時に、新たに 7 機関とパートナーシップを締結し、3 件の農業プロジェクトと 1 件の再生可能エネルギープロジェクトに参入し事業の幅を広げました。

Maanaveeya は、過去 10 年間の取り組みを記念して、パートナー、開発機関、部門リーダー、銀行、業務監査委員、その他の出資者らを招き、マイクロファイナンスと社会的業績管理についてのシンポジウムを開催しました。水と衛生、再生可能エネルギーの 3 年計画は、IFC（世界金融公社）と共同で実行され、すべての目標を達成して完了しました。

東南アジアのポートフォリオは、約 39% と、かつてないほど増加しましたが、これは主にカンボジアの長期にわたるパートナーのマイクロファイナンス機関への融資によります。オイコクレジットの地域開発金融事業は、インドネシアのような非重点国においても成長しており、私たちは金融と社会的業績をしっかりと両立させているマイクロファイナンス機関を援助しています。

フィリピンでは、パートナーと共同で始めた、災害リスク軽減とマネジメントに関する研修が順調に行われ、このプログラムをカンボジア、ベトナムとインドネシアでも行うことにしています。マニラオフィスでは、二酸化炭素の排出量を算定し、健全な環境経営を行うことで、排出量を減らす方向に進んでいます。オイコクレジット・フィリピンは 25 周年を迎えましたが、その間一貫して、パートナー機関の再生力向上に焦点をあてて運営してきました。

インドでは、変化を続ける市場での力学が、マイクロファイナンス・パートナーが今後取り組むべき課題となるかもしれません。オイコクレジットは、社会的業績と質の高いポートフォリオの維持に重点をおきつつ、投資対象を農業と再生可能エネルギー分野に広げていくことに、今後も努力をしていきます。東南アジアのポートフォリオは、2014 年に比べ率は低いものの、カンボジアに牽引されて、その成長は続くと思予想しています。インドネシア、ベトナムにおけるさらなる拡大と、新たにミャンマーへの参入を期待しています。

AMK

Angkor Microfinance Institution Plc (AMK) は、カンボジアすべての州に支社をもつ、独立したカンボジアの MFI です。40 万を越える顧客を持ち、個人融資、グループ融資、貯蓄、預金商品など、個々の顧客のニーズに合わせた幅広いマイクロファイナンスサービスを提供しています。このように幅広い選択肢を用意することで、AMK は、生活や、生計を立てる手段を向上させる機会を顧客に提供しています。AMK の融資額の平均は、カンボジアのマイクロファイナンス機関のなかで最も低く、その点で特に革新的です。「戸別に訪問して融資する」という独創的なサービス（地域社会レベルでの融資金の支払いや返済回収、預金、マイクロ保険など）は、カンボジアの多くの低所得者に、便利で低コストのサービスを提供することを可能にしています。



AMK は、顧客数ではカンボジア最大のマイクロファイナンス機関であり、融資残高ではカンボジアで認可された 35 のマイクロファイナンス機関のなかで第 7 位です。国内 25 の州と都市、1 万 2075 の村に 1740 人のスタッフが配置されており、9630 万 US ドルを越える融資ポートフォリオを有しています。

AMK は、顧客の広がり と革新性に誇りを持っており、競合する他の機関よりもその点で群を抜いていると自負しています。AMK はマイクロファイナンス預金機関 (MDI) の認可を有しており、MIX (世界の MF のデータソース) による「世界の 100 マイクロファイナンス組織」で、カンボジアでは第 1 位、世界では第 16 位に格付けされています。また唯一、4 年連続で上位 20 位に位置づけられたマイクロファイナンス機関です。AMK は、社会的なサービスの広がりやミッションへの強いコミットメントで有名です。

AMK がカンボジア国内でサービスの行き届かない地域にマイクロファイナンス事業を拡大するのを支援するために、オイコクレジットは 2007 年以降 AMK へ 8 件の融資を承認しています。

ラテンアメリカ 成長と多様化

2014年のラテンアメリカの経済情勢は複雑でした。中央アメリカでは堅調な成長がみられましたが、貧困は広範囲にわたって蔓延しています。南米の南部には、高いインフレを経験した国もありました。しかし、私たちは、融資や投資を促進するだけでなく、多様化も進めて、良い結果が得られました。

2014年、中央アメリカでのオイコクレジットのポートフォリオは、著しい成長と多様化を達成しました。承認された4700万ユーロの67%は金融仲介機関に、21%は農業分野に、12%は他の分野に割り当てられました。農業分野への融資の大半はコーヒー事業へ、残りは乳製品、果物、野菜の分野へ融資されました。コーヒーのさび病の問題は、グアテマラを除いてほぼ解決しましたが、農作物は気候変動の問題に直面しています。マイクロファイナンスにおいても規制と競争がともに厳しくなりました。私たちは、プロジェクトパートナーに向けて、次の三点で、戦略的サポートプログラムを立ち上げることに成功しました。それは、マイクロファイナンス機関のリスク管理、小規模協同組合用のプログラム、コーヒー生産体制の強化です。中央アメリカでは急速に再生可能エネルギーのセクターが出現したことにより、投資の可能性が広がっています。

南米の北部では、オイコクレジットのポートフォリオは、ペルーとエクアドルでの多くのマイクロファイナンスへの融資により飛躍的に拡大しました。また、米州開発銀行との協調融資によってエクアドルの極小および小中規模の農家の資金調達の可能性が拡大すると見込まれます。私たちはポートフォリオの質の維持に留意しながら、生産者連合や協同組合と協力し、社会性を重視しているマイクロファイナンス機関を支援し、農業分野のポートフォリオを構築し続けます。ナッツやパーム油、キヌアなど新しい農作物の開拓に努め、輸出前融資だけでなく、生産やインフラへの投資のための長期間の融資も行っていきたいと思っています。私たちはスタッフに、農業分野に必要な訓練を十分に受けさせるとともに、パートナーである協同組合にも農業でのバリューチェーン、リスク管理、商品や組織の開発、社会的業績管理の上での能力開発支援を行いました。

南米の南部では記録的な融資を承認することができました。その3分の1は農業分野への融資でしたが、特にブラジル市場には活力が戻っているのを感じました。商品の値段が下がれば、農業パートナーに負担がかかります。それに対応するために、コーヒー生産者協同組合が価格のリスク管理、金融やガバナンスの知識、国際マーケティングについて能力開発ができるように支援し、バナナ生産者へはバナナ葉さび病への対処法についても支援を行いました。私たちは、マイクロファイナンス機関とリスク管理の分野で協力し、社会的業績管理指導プログラムや貧困脱出指標の使用についても引き続き支援を行いました。

PRODECOOP

Promotora de Desarrollo Cooperative de las Segovias SA(PRODECOOP)は1993年に設立されたニカラグアのコーヒー生産協同組合で、20年にわたりオイコクレジットのパートナーです。ニカラグア北部地域の2300の小規模コーヒー生産者からなる39の傘下の協同組合で構成されています。PRODECOOPは組合員に有機農法と在来農法両方のコーヒー製造や販売を支援するサービスを提供しています。さらに、資金提供、能力強化や社会開発プロジェクトの面でも支援しています。またPRODECOOPは、組合員への社会的責任として、植物の生育地や生態系の保護、ジェンダーの平等、教育の機会を持つ権利、協同組合の方針を提供するなどを実践しています。



PRODECOOPはフェアトレード認証と有機栽培者認証を得ているため、組合員に生産性の向上や農業の実践方法を改善するなどの支援を行うことができます。また、組合員やその家族が奨学金を受けられるプログラム、有機生産に焦点を当てた環境活動、生産者の為に改良された加工施設、能力開発などのサービスも追加しました。準組合員や組合員の家族、直接または間接的に仕事を得ている人を含め、1万人以上の人々がPRODECOOPから恩恵を得ています。PRODECOOPはニカラグアで最も大きい中堅の協同組合の一つとして支援活動を広げています。

この協同組合は、自分達でコーヒーの乾式粉碎施設を持っており、20名の常勤スタッフと、収穫期には何百人もの従業員を雇用しています。

東ヨーロッパと中央アジア チャンスと課題

東ヨーロッパと中央アジアには、社会的投資を拡大するチャンスのある国と難しい課題が存在する国が多様に混在しています。中央アジアとコーカサスのポートフォリオは2014年には力強い伸びを示しましたが、モルドバやロシア、ウクライナはオイコクレジットにとって、あまり良い環境とは言えませんでした。

昨年の東ヨーロッパと中央アジアにおけるオイコクレジットの業績は、外部環境のために取り組むべき課題はありましたが、ポートフォリオの伸びやマネジメントについては好調でした。特に中央アジアとコーカサスにおけるポートフォリオの伸びは予想をはるかに超えるほどでした。一方、モルドバとロシアの事務所については、この地域の将来性が低く、ポートフォリオの管理はアメルスフォールトの国際事務所にある、東ヨーロッパ・中央アジアの地域中核事務所で十分にできるため、閉鎖しました。

ウクライナでは、2013年後半以降、政治情勢、経済情勢が予測不可能な状況であることや、パートナー機関からの需要が低いことなどのため、新しい融資は行っていません。パートナー機関への顧客からの融資申請も減っています。現在のウクライナのポートフォリオは、2つのパートナー機関のみで構成されていますが、農業セクターへの支援は続けたいと考えています。また、取引先を成長に導く能力を持っている信用組合とも事業を続けていきます。

2014年には東ヨーロッパと中央アジアのパートナーからは素晴らしい社会的業績の報告を受けています。私たちはコソボとアゼルバイジャンで、外部機関を使ってパートナー機関の能力開発の査定を支援し、モルドバでは能力開発訓練を開始しました。2015年にはパートナーが顧客保護原則（CPPs）を順守しているかの査定も行います。この地域の多くのパートナーがこの査定で良い結果をあげ、認証を得たケースもあります。

現在ではルーマニア事務所がモルドバを管轄していて、両国の市場とも、2015年に新しいプロジェクトへの投資が予定されており、これらの成功が期待されます。中央ヨーロッパやバルカン諸国では需要は依然高くはありませんが、ここでも私たちは新しい投資の可能性を開拓しています。成長が最も見込まれているのは中央アジアで、他の地域事務所もこれまで通り、中央アジア事務所を支援していきます。

Kompanion

Kompanion Financial Group Microfinance は、2004 年に Mercy Corps によりキルギスに設立されました。Mercy Corps.は、経済開発と援助を行う非営利機関で、現在 Kompanion の株式の過半数を所有しています。Kompanion は、国内全域にわたり 11 万 5000 の顧客をもち、ポートフォリオのサイズと顧客支援では、キルギスの上位 3 社の一つに数えられるマイクロファイナンス機関です。同時に顧客からも競合他社からも最も厚い信頼を得ている機関の一つでもあります。

Kompanion は、小自作農家や畜産農家に、地域開発に関する助言サービスと併せて小口融資を提供し、持続可能な農業経営および天然資源管理の推進を手助けしています。同社は、特に地方の貧困層へのサービスに力を入れていて、顧客の 80%以上が地方に在住し、その 80%以上は女性です。キルギスで初めて顧客保護を指導する SMART キャンペーンの顧客保護認証を受けたのも Kompanion です。



Kompanion の「牧場経営訓練計画」は、2014 年 11 月にヨーロッパ・マイクロファイナンス賞を受賞しました。この計画は、畜産農家を対象に、牧草地の管理と維持についての訓練プログラムを行うことに対して特別貸付を提供するものです。これは、広範囲に及ぶ農地の劣化に焦点をあてて進められているプログラムで、2011 年のスタート以来、2 万 4000 以上の顧客がこの訓練を受け、知識と技術を得た結果、化学肥料の使用が 18%減り、畜産による収入は 30%増えるという実績が得られました。

Kompanion は 2005 年からオイコクレジットのパートナーとして活動していますが、同社の地域社会の発展への貢献は、広く国際的に認められています。オイコクレジットも、その持続可能な地域社会の形成への革新的なアプローチと貢献、環境問題に対する鋭い認識を高く評価しています。

(翻訳協力：YWCA 国際翻訳ボランティアズ ILV

Africa: 遠藤崇

Asia: 久保友美

Latin America: 中尾あき子

Eastern Europe and Central Asia: 柴田幸子・呉みどり)